

# HINO TEAM SUGAWARA

ダカールラリー2019 排気量 10 リットル未満クラス 10 連覇!!



# Challenge & Result



## ■ 排気量 10 リットル未満クラス 10 連覇、総合 9 位 !! 連続 28 回完走、菅原義正氏連続 36 回参戦 !!

日野チームスガワラは、2019年1月6日～17日にペルーで開催されたダカールラリー2019のトラック部門に日野レンジャー2台で参戦。菅原照仁ドライバーが、同部門の排気量10リットル未満クラスで優勝し、チーム史上最多となるクラス10連覇を達成した。今大会は例年になく砂のステージが多く、難易度の高いコース設定により従来以上に過酷な内容となったが、日野レンジャーの機動性、菅原照仁氏のドライビングテクニックおよび豊富なラリーの経験により、大型トラックのライバル勢を相手に同部門の総合9位を獲得した。

「ダカールの鉄人」こと菅原義正ドライバーは、1983年のパリ・ダカールラリー（当時）の二輪部門への初参加以来、同ラリー史上最多となる連続36回出場の世界記録を更新。今回はステージ2の序盤でステアリング系のトラブルに見舞われ、無念のリタイアとなった。菅原義正氏は、「応援してくださった皆様には感謝の気持ちと同時に申し訳なく思います。一方で2号車が排気量10リットル未満クラスの10連覇を達成出来て良かった。」と、2年連続でリタイアに喫したことを悔しみながらも、2号車の成績を称えていた。

今大会はペルー、1ヵ国のみ、かつ昨年よりも3日間短い期間での開催であったが、トラック部門の完走率は41台中14台の34%。昨年と比較しても約10%低下しており、今大会がいかにか厳しいものであるかを物語っていた。日野自動車は、1991年に日本の商用車メーカーとして初めて参戦して以来、この「世界一過酷なラリー」において連続28回目の完走を達成し、世界中が注目する中で、改めてその存在感を示した。



# Dakar Rally 2019





## ■ ダカールラリー2019・12 日間の軌跡

2019年大会はペルー1ヵ国での開催で、ステージ数が10か所、総走行距離の合計は5,601km、そのうちSS（競技区間）の合計は2,959kmと、ダカールラリーとしてはコンパクトな構成となるが、ペルー南部の砂丘地帯が主戦場になるなど、これまで以上に厳しい戦いとなった。



1月6日 スタートセレモニー リマ

ダカールラリー2019のスタート地であるリマでセレモニーが実施された。

2台の日野レンジャーも登場し、チーム全員が気持ちを引き締めた。



競技区間：2,959km

移動区間：2,642km

総走行距離：5,601km

# Dakar Rally 2019

■ ダカールラリー2019参加台数と完走台数

|       | Truck<br>(トラック) | Bike<br>(2輪) | Quad<br>(バギー) | Car<br>(4輪) | S × S<br>(多用途4輪車) | 計     |
|-------|-----------------|--------------|---------------|-------------|-------------------|-------|
| エントリー | 41              | 137          | 26            | 100         | 30                | 334   |
| 完走    | 14              | 75           | 15            | 56          | 20                | 180   |
| 完走率   | 34.1%           | 54.7%        | 57.7%         | 56.0%       | 66.7%             | 53.9% |







### 1月7日 ステージ1 リマ～ピスコ

2台の日野レンジャーは砂丘ステージを順調にクリアした。  
2号車は排気量10リットル未満クラス1位でゴール。  
1号車はクラス2位でピスコのビバークに到着した。



### 1月8日 ステージ2 ピスコ～サン・ファン・デ・マルコナ

ステアリング系のトラブルに見舞われた1号車がリタイア。  
2号車はセンターデフのロック機構が不調となるも、慎重に走り切る。  
クラス1位でゴールした2号車は累計順位を総合15位まで伸ばす。

### 1月9日 ステージ3 サン・ファン・デ・マルコナ～アレキバ

好調に走り続ける2号車は、序盤の砂丘も無難にこなし、総合10位でゴール。  
累計順位はカマズやタトラなど大型のライバル勢に分け入る総合12位に浮上。  
排気量10リットル未満クラス1位のポジションも堅持した。

# Dakar Rally 2019



## 1月10日 ステージ4 アレキパ～タクナ

大会唯一のマラソンステージに突入し、前半戦も大詰め。

大きなリスクを負わないアタックを続け、総合15位/クラス1位でゴール。

午後7時頃ビバークに到着し、給油や点検を行い、前半戦最終日に備えた。



## 1月11日 ステージ5 タクナ～アレキパ

マラソンステージの二日目。

路面は枯れ川の底や石ころ交じり丘陵を行くオフビストが中心となる。

コースが濃霧に覆われるアクシデントにより、CP\*3で競技は中止に。

2号車は15番手スタートから順位を上げ、総合12位でCP\*3に到達。

\*チェックポイント

## 1月12日 休息日 アレキパ

ベルーのアレキパで中間休息日。

ビバーク地で後半戦に向けた点検整備を行い、車両をリフレッシュした。





1月13日 ステージ6 アレキバ～サン・ファン・デ・マルコナ  
ダカールラリー2019は後半戦に突入。

セミマラソンが開始され、無念のリタイアを喫した1号車も出走する。

2号車はウェイポイント\*ミスによるペナルティを負いながらも、  
累計総合順位は総合8位にポジションを上げた。

\* チェックポイント以外に通過が義務付けられているポイント

# Dakar Rally 2019



1月14日 ステージ7 サン・ファン・デ・マルコナ～サン・ファン・デ・マルコナ  
2号車は途中、右前輪がパンクするアクシデントに見舞われる。  
約18分のタイムロスがありながらも、以降ノーミスで走り終え、総合9位。  
1号車はマルコナのビパークを通過するも、ゴールへは到達できなかった。  
翌日、正式にセミマラソンのリタイアが決定した。



1月15日 ステージ8 サン・ファン・デ・マルコナ～ビスコ  
手堅い走りを続けていた2号車は、難易度の高い砂丘ステージでスタック。  
自力での脱出に時間を要し、CP\*通過順位は12番手まで後退。  
その後、懸命の走りで挽回し10位でゴール、総合8位に躍進した。  
\*チェックポイント

1月16日 ステージ9 ビスコ～ビスコ  
引き続きコースは、通過の難しいフェッシュフェッシュ\*が大半。  
2号車は細心の注意を払いながらハイペースを保ち走行した。  
\*非常にソフトな微粒子状の土が堆積したところ



**FINISHERS**

#Dakar2019

**MOTUL**  
france.tv sport  
**KÄRCHER**  
**HONDA**  
**TOYOTA**  
El Comercio  
RPP  
**IVA**  
GLACIAL  
**PRIMAX**  
**WEGA**  
ORIGINAL QUALITY

**510**  
PERU  
2019

**1月17日 ステージ10 / ゴールセレモニー** ビスコ〜リマ  
ダカルラリー2019、リマでフィニッシュ。  
2号車が総合9位を獲得し、排気量10リットル未満クラス10連覇を達成。

#Dakar2019



# Members



## 菅原 義正 すがわら よしまさ

チーム代表 兼 1号車ドライバー

日本レーシングマネージメント(株) 取締役会長

### コメント

2年続けてのリタイアは本当に悔しい。応援してくださった皆様には感謝の気持ちと同時に申し訳なく思います。一方で2号車が排気量10リットル未満クラスの10連覇を達成出来て良かった。その点は安堵しています。



## 菅原 照仁 すがわら てるひと

2号車ドライバー

日本レーシングマネージメント(株) 代表取締役

### コメント

今回は、新型車両で毎年上位の大型勢と戦いました。新たな課題を感じる一方、この先、どうするべきか、見えたところもあります。コースがハードになったからといって、完走狙いでは勝負にならない。今後も、リスクを冒した走りをしていかないとトップ争いに食い込むことは難しいと思います。



## ■ 櫻井 亜仁 さくらい あひと

1号車ナビゲーター

RULE!!MOTO 代表

### コメント

日野レンジャーの1号車のナビとしてリタイアは残念の一言。多くの人たちの気持ちが込められた車両ですので、もう少しなんとかならなかったのかと、メカニックの人たちに申し訳ない気持ちです。これからは日野チームスガワラやダカールラリーを応援してくれる人を一人でも増やせるよう努力していきたいと考えています。



## ■ 羽村 勝美 はむら かつみ

2号車ナビゲーター

ジャストスピード 代表

### コメント

前半戦で1台になってプレッシャーを感じながら走っていましたが、無事ゴール出来て、今はほっとしています。ダカールラリーで初めて組んだ照仁さんの上位を狙う走りは速いし、良い勉強になりました。



# Members



## ■ 鷹取 英明 たかとり ひであき

メカニック・リーダー

日野自動車（株）車両生技部

### コメント

メカニック全員怪我もなく無事にゴール出来て安心しました。1号車は残念でしたが2号車が良い結果を出してくれた。個人的には今回はアフリカ時代のダカールラリーとの違いも印象的でした。



## ■ 鈴木 誠一 すずき せいいち

テクニカルアドバイザー

日本レーシングマネージメント(株)

### コメント

初めてダカールラリーを走った新型2号車は素性は良いもののサスペンションのセッティングなど、煮詰めが必要なが分かりました。とりあえずトップ10内でフィニッシュ出来て良かったです。



いしざき ふみのり  
**石崎 史典**

メカニック  
茨城日野自動車（株）

**コメント**

ゴールを迎えて、これで終わりかと思うと寂しい気持ちです。完璧な整備ができたとつもりでしたが、それだけでは足りず、上手くいかないところもありました。残念なのは1号車のリタイア。これで2号車にもプレッシャーが掛かったと思います。



ほんだ ゆう  
**本田 優**

メカニック  
愛知日野自動車（株）

**コメント**

車両製作から携わらせて頂き、経験し難い良い一年間でした。それだけに1号車には思い入れがあったのでトラブル発生とセミマラソンを含めて2回のリタイアは残念。実力を高めた上で、もしもチャンスがあれば、また挑戦してみたいです。



なわ だいすけ  
**名和 大介**

メカニック  
岐阜日野自動車（株）

**コメント**

ビバークはキャンプというよりサバイバルでした。競技車を走らせるというひとつの目的に向かってみんなが団結して仕事をするのは楽しかったです。過酷の中に大きなやりがいを感じました。



おだ ひろのぶ  
**小田 大伸**

メカニック  
三重日野自動車（株）

**コメント**

1号車のトラブルは仕方ありませんが、内容は市販車にも見られるものだったので悔しい。自分は42歳になりますが、ダカールラリーのメカニックは素晴らしい経験でした。是非、後輩にも体験してほしいと思っています。



# Members



いしだ かすき  
**石田 一輝**

メカニック  
日野自動車（株） サービス部

## コメント

過酷なラリーの難しさは経験しないとわからないと思います。体力的には休息日明けが一番厳しかった。ゴールした今は乗り切った感じでほっとしました。できれば2台揃って完走させたかったです。



きたがわ しんじ  
**北川 親二**

メカニック  
日野自動車（株） 車両モジュール実験部

## コメント

ゴールまで、日にちの経つのが早かった。現場にいると今日が何曜日かも分かりません。自分は日野自動車の車両モジュール実験部の所属ですが、ラリー車を見てると市販車とは壊れ方が全く違う。予想以上に重整備も多かったですし、過酷さの一端を見たように思います。



もちづき ゆうじ  
**望月 裕司**

メカニック  
日野自動車（株） パワートレイン実験部

## コメント

あっという間でした。これで終わるのが残念なほどメカニックはチームワークが良く、2号車のリーダーとしても気持ち良く仕事が出来ました。ラリー車には出来るなら一度乗ってみたいです。



撮影地：Mitsui Automotoriz S.A. Santa Anita 支店

## Other Members

たかはし わたる  
**高橋 弥**

メカニック

日野自動車(株) 車両実験部

あんどう るみ  
**安藤 瑠美**

サポートメンバー

日本レーシングマネジメント(株)

けづか まゆみ  
**毛塚 麻由美**

サポートメンバー

日本レーシングマネジメント(株)

バイラーチュルウウン・ドゥインクハルサーブ

**BAYARCHULUUN DUINKHARJAV**

アシスタンスドライバー

たなか こうじ  
**田中 宏治**

サポートメンバー

日本レーシングマネジメント(株)

おかだ みほ  
**岡田 実穂**

PR スタッフ

日野自動車(株) 渉外広報部

いしかわ あつし  
**石川 睦史**

コーディネーター

日野自動車(株) サービス部

ムンクバタラー・ユラ

**MUNKHBAATAR YURA**

アシスタンスドライバー



## 下 義生 しも よしお

日野自動車 代表取締役社長 最高経営責任者

### コメント

タフなコースをしっかりと走り切り、クラス10連覇を達成。今回の連覇はチーム全員の勝利でしょう。みなさんにお疲れさまでと言いたいです。1号車は残念でしたが菅原義正ドライバーの次回の挑戦に期待しています。2号車も来年に向けて、さらに磨きをかけていきたいです。また、ダカールラリーに参戦し続けている経験をより良い商品づくりに活かしていきたいと考えています。



# Racing Truck



日野レンジャーダカールラリー2019参戦車スペック

|      |           | 1号車                    | 2号車                        |
|------|-----------|------------------------|----------------------------|
| エンジン | エンジン型式    | A09C-TI (ターボインタークーラー付) |                            |
|      | エンジン形式    | ディーゼル4サイクル直列6気筒        |                            |
|      | 排気量       | 8.866L                 |                            |
|      | 最高出力/回転数  | 670ps / 2,300rpm       | 750ps / 2,600rpm           |
|      | 最大トルク/回転数 | 236kgm / 1,200rpm      | 236kgm / 1,200rpm          |
| 駆動系  | 駆動方式      | パートタイム4WD              | フルタイム4WD                   |
|      | トランスミッション | 前進6速・後退1速              |                            |
|      | トランスファー   | Hi-Lo レンジ切替付           | Hi-Lo レンジ切替付<br>センターデフロック付 |
|      | タイヤ       | XZL+ 14.00R20          |                            |
| シャシ  | 車両総重量     | 7,300kg                | 7,900kg                    |
|      | 全長        | 6,290mm                | 6,700mm                    |
|      | 全幅        | 2,500mm                | 2,500mm                    |
|      | 全高        | 3,150mm                | 3,000mm                    |
|      | ホイールベース   | 3,890mm                | 4,170mm                    |
|      | 燃料タンク     | 700L                   | 760L                       |

## ■ ダカールラリー参戦車は日野レンジャーをベースに開発

日本国内での発売から今年55周年を迎え、  
いまでは世界中で物流を支える中型トラック  
「日野レンジャー（英語名：HINO500Series）」。  
日野のダカールラリー参戦車はこの中型ト  
ラックをベースに開発されている。

ダカールラリーにおいて、中型トラックは  
機動性に優れる一方で、大型トラックに対し、  
絶対的なパワーにおいて有利とは言いがたい。  
しかし、日野は初参戦以来一貫して、軽量な  
車体で俊敏性に優れる中型トラックでの挑戦  
を続けている。ライバルの大型トラックと熾  
烈な戦いを繰り広げる雄姿から、「リトルモン  
スター」と称されている。



写真右：日野レンジャー最新モデル（日本国内仕様）



# HINO's History

## 日野の戦歴 1991-2019



詳細は公式サイトをご覧ください  
[www.hino.co.jp/dakar/](http://www.hino.co.jp/dakar/)

| 大会年  | 完走回数 | コース(国名)<br>成績(トラック部門総合・排気量10リットル未満クラス)                               |
|------|------|----------------------------------------------------------------------|
| 2019 | 28   | リマ(PER)～アレキパ(PER)～リマ(PER)<br>1号車:規定により失格 / 2号車:9位・優勝(クラス10連覇)        |
| 2018 | 27   | リマ(PER)～ラパス(BOL)～コルドバ(ARG)<br>1号車:規定により失格 / 2号車:6位・優勝                |
| 2017 | 26   | アスンシオン(PRY)～ラパス(BOL)～ブエノスアイレス(ARG)<br>1号車:29位・2位 / 2号車:8位・優勝         |
| 2016 | 25   | ブエノスアイレス(ARG)～ウユニ(BOL)～ロサリオ(ARG)<br>1号車:31位・2位 / 2号車:13位・優勝          |
| 2015 | 24   | ブエノスアイレス(ARG)～イキケ(CHL)～ブエノスアイレス(ARG)<br>1号車:32位・2位 / 2号車:16位・優勝      |
| 2014 | 23   | ロサリオ(ARG)～サルタ(ARG)～バルバライソ(CHL)<br>1号車:32位・2位 / 2号車:12位・優勝            |
| 2013 | 22   | リマ(PER)～トゥクマン(ARG)～サンティアゴ(CHL)<br>1号車:31位・4位 / 2号車:19位・優勝            |
| 2012 | 21   | マル・デル・プラタ(ARG)～コピアポ(CHL)～リマ(PER)<br>1号車:24位・3位 / 2号車:9位・優勝           |
| 2011 | 20   | ブエノスアイレス(ARG)～アリカ(CHL)～ブエノスアイレス(ARG)<br>1号車:13位・2位 / 2号車:9位・優勝       |
| 2010 | 19   | ブエノスアイレス(ARG)～アントファガスタ(CHL)～ブエノスアイレス(ARG)<br>1号車:規定により失格 / 2号車:7位・優勝 |
| 2009 | 18   | ブエノスアイレス(ARG)～バルバライソ(CHL)～ブエノスアイレス(ARG)<br>1号車:26位・6位 / 2号車:14位・2位   |
| 2008 | —    | 大会中止                                                                 |
| 2007 | 17   | リスボン(POR)～ダカール(SEN)<br>1号車:13位・2位 / 2号車:9位・優勝                        |
| 2006 | 16   | リスボン(POR)～ダカール(SEN)<br>1号車:5位 / 2号車:7位・クラス別なし                        |
| 2005 | 15   | パルセロナ(ESP)～ダカール(SEN)<br>1号車:2位・優勝 / 2号車:6位・3位                        |

| 大会年  | 完走回数 | コース(国名)<br>成績(トラック部門総合・排気量10リットル未満クラス)                                                                                                                                            |
|------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2004 | 14   | ケレルモンフェラン(FRA)～ダカール(SEN)<br>1号車:5位・クラス別なし                                                                                                                                         |
| 2003 | 13   | マルセイユ(FRA)～シャルムエルシェイク(EGY)<br>1号車:5位・クラス別なし                                                                                                                                       |
| 2002 | 12   | アラス(FRA)～マドリッド(ESP)～ダカール(SEN)<br>1号車:3位・優勝(クラス7連覇)                                                                                                                                |
| 2001 | 11   | パリ(FRA)～ダカール(SEN)<br>1号車:2位・優勝                                                                                                                                                    |
| 2000 | 10   | パリ(FRA)～ダカール(SEN)～カイロ(EGY)<br>1号車:5位・優勝                                                                                                                                           |
| 1999 | 9    | グラナダ(ESP)～ダカール(SEN)<br>1号車:4位・優勝                                                                                                                                                  |
| 1998 | 8    | パリ(FRA)～グラナダ(ESP)～ダカール(SEN)<br>1号車:2位・優勝                                                                                                                                          |
| 1997 | 7    | ダカール(SEN)～アガデス(NIG)～ダカール(SEN)<br>1号車:2位・2位 / 2号車:優勝・優勝 / 3号車:3位・3位(トラック部門史上初1～3位制覇)                                                                                               |
| 1996 | 6    | グラナダ(ESP)～ダカール(SEN)<br>1号車:6位・優勝 / 2号車:11位・2位                                                                                                                                     |
| 1995 | 5    | グラナダ(ESP)～ダカール(SEN)<br>1号車:2位・クラス別なし                                                                                                                                              |
| 1994 | 4    | パリ(FRA)～ダカール(SEN)～パリ(FRA)<br>1号車:2位・クラス別なし                                                                                                                                        |
| 1993 | 3    | パリ(FRA)～タンジェ(MA)～ダカール(SEN)<br>1号車:6位・クラス別なし                                                                                                                                       |
| 1992 | 2    | パリ(FRA)～シルト(LAR)～ル・カップ(RSA)<br>1号車:5位 / 2号車:4位 / 3号車:10位 / 4号車:6位・クラス別なし<br>パリ(FRA)～トリポリ(LAR)～ダカール(SEN)<br>1号車:7位 / 2号車:負傷により棄権 / 3号車:10位 / 4号車:14位・クラス別なし<br>(日本のトラックメーカーとして初参戦) |
| 1991 | 1    |                                                                                                                                                                                   |

国名略号: ARG=アルゼンチン, BOL=ボリビア, CHL=チリ, EGY=エジプト, ESP=スペイン, FRA=フランス, LAR=リビア, NIG=ニジェール, PER=ペルー, POR=ポルトガル, PRY=パラグアイ, RSA=南アフリカ, SEN=セネガル

日野自動車は、1991年に日本のトラックメーカーとして初めてダカールラリーに参戦。最低完走率が20.5%を記録したこともある「世界一過酷なラリー」で、初参戦以来2019年まで28回連続完走を果たしている。1994年にはトラック部門で総合2位を獲得し、翌1995年も2位の座を手にした。1997年には、トラック部門総合では史上初となる1・2・3位を独占するという快挙を成し遂げ、世界中を驚かせた。その後も総合2位を3回獲得するなど、トラック部門のトップクラスのチームとして活躍を続けている。1996年～2002年に創設された同部門の「排気量10リットル未満クラス」でも7連覇を果たし、その後2年間は同クラスが廃止されたが、2005年大会で再び創設され優勝を果たした。2007年にもクラス優勝し、2010年～2019年にかけてはクラス10連覇の栄冠を手に入れている。





# Photos









日野チームスガワラの活動をご支援いただいているスポンサー企業の皆様

## ご支援・ご声援 ありがとうございます

東京濾器株式会社  
株式会社タチエス  
株式会社キャタラー  
国分グループ本社株式会社  
出光興産株式会社  
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
Toyosa S.A.  
株式会社デンソー  
日本ピストンリング株式会社  
千代田運輸株式会社  
三共ラチエーター株式会社  
理研鍛造株式会社  
日野ユートラック&エンジニアリング株式会社  
株式会社日立ハイテクノロジーズ  
株式会社小糸製作所  
NOK 株式会社  
ワブコジャパン株式会社  
豊田通商株式会社  
コベルコ建機株式会社  
川崎汽船株式会社  
岡本物流株式会社  
日本発条株式会社  
丸紅株式会社  
株式会社武部鉄工所  
株式会社シマブンコーポレーション  
株式会社メイドー

株式会社東郷製作所  
日野トレーディング株式会社  
株式会社三五  
ナプテスコオートモーティブ株式会社  
株式会社ソーシン  
澤藤電機株式会社  
曙ブレーキ工業株式会社  
クオリカ株式会社  
株式会社トランテックス  
東洋鍛工株式会社  
Dana Limited.  
Hino Motors Sales U.S.A. Inc.  
福島製鋼株式会社  
アイシン精機株式会社  
株式会社ジェイテクト  
株式会社日野エンジニアリングアネックス  
ジェイ・バス株式会社  
カスヤ精工株式会社  
濱坂電機株式会社  
トヨタ T&S 建設株式会社  
株式会社ユーネットランス  
株式会社アドヴィックス  
三井精機工業株式会社  
日本イートン合同会社  
株式会社マブチ  
株式会社ルミナス

青伸産業運輸株式会社  
株式会社杉浦製作所  
株式会社エイチワン  
株式会社青山製作所  
株式会社大安工業所  
トビー工業株式会社  
大源製薬株式会社  
埼玉機器株式会社  
トヨタホーム株式会社  
TBユニファッション株式会社  
日清紡プレーキ株式会社  
坪井特殊車体株式会社  
日野テクニカルサービス株式会社  
ディービーティー株式会社  
Meritor GmbH  
Hino Motor Sales Australia Pty. Ltd.  
PT. Hino Motors Sales Indonesia  
Hino Motors Sales (Malaysia) Sdn. Bhd.  
豊田合成株式会社  
ビッグオフロードクラブ  
アメリカン航空会社  
日本ミシュランタイヤ株式会社  
株式会社ヨシムラジャパン  
日軽金アクト株式会社  
住鋤潤滑剤株式会社  
株式会社GSユアサ

第一プレス工業株式会社  
株式会社エンドレスプロジェクト  
株式会社スリーボン  
株式会社ノルトロックジャパン  
TONE 株式会社  
株式会社アライヘルメット  
株式会社ケテル  
株式会社日本ヴェーテック  
リンテック株式会社  
プリンテック株式会社  
イワタフクソー株式会社  
株式会社オレンジ・ジャパン  
山本光学株式会社  
株式会社日本デジコム  
株式会社セイコーステラ  
株式会社 FNC  
株式会社モンベル  
株式会社丸紅フットウェア  
株式会社ハイレックスコーポレーション  
世田谷レーシング  
RIDE BAG  
ビルボード・システム・ジャパン株式会社  
坂口電機株式会社  
PRIMRING  
Toyota del Perú S.A.  
Hino Motors (China) Co., Ltd.  
Mitsui Automotriz S.A.



# HINO TEAM SUGAWARA